



〒104-0044  
東京都中央区明石町10-1  
聖路加国際大学礼拝堂  
TEL 5550-2416 (日曜)  
TEL 5550-7043 (平日)  
FAX 5550-7070  
E-mail: chapel@luke.ac.jp  
URL: <http://nssk.org/tokyo/church/luke>



聖書に学ぶ会

- 第1日曜日 午後 聖書を読む会
  - 第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書
  - 第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書
- 場所…旧館2階 プライベートルーム  
日程・場所変更の場合があるため事前にご確認ください。

巻頭メッセージ

イエス様へのプレゼント

礼拝案内

月・火・木・金曜日

■ 午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

水曜日

■ 午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜、第3火曜、第3水曜の礼拝は午前8時45分～

日曜日

■ 午前7時 聖餐式 トイスラーホール

■ 午前10時 日曜学校礼拝 臨時チャペル

■ 午前10時30分 聖餐式・説教 臨時チャペル

■ 午後5時 夕の礼拝 トイスラーホール

## 巻頭メッセージ

## イエス様へのプレゼント

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋 宏幸

以前、尋ねられたことがありません。「最近、教会でもクリスマスをするのですか?」と。真面目に尋ねられたので、真面目に答えました。

「二千年位前から」と。すると、「人が折角真面目に聞いているのに、小馬鹿にしたような答えをして」と言わんばかりにムスツとした顔をされました。確かに、巷の商売絡みのクリスマスは華美であり、十一月には準備も始まります。その光景をイエス様をご覧になったら、「なんだか巷中賑やかで、綺麗な飾り付けや美味しそうなお馳走が並んでいるけれども、何かお祝い事でもあったのかい?」と言われるのではと想像しました。そして、人びとは揃って答えるでしょう。「イエス様、何をおっしゃっているのですか、あなたのお誕生日ですよ。世界中がお祝いしているのですよ!」と。イエス様は返されるでしょう。「それは不思議だ。私は。パーティーに招かれてもせず、プレゼントももらっていないよ」と。

てのことでした。しかし、それは天地をひっくり返すような出来事でした。なぜなら、神不在としか思えないような暗闇の中にさえも、神様はその只中におられる出来事だからです。

ともすれば、人間は神様を追い出す、つまり命の中で働かれる神様を追い払うことさえ仕出かします。しかし、神様とは、真つ暗闇の中に置き去りにされているかのような人間の命の只中に、ご自身の働きの場を定められます。悲しみに打ちひしがれた心、傷んでいる心、不安に苛まれている心は、それらを担ってください。イエス様への献げものにもなります。さらに、自らの傷みを抱え、尚且つ誰かの傷みに寄り添おうとする時、イエス様はおっしゃるでしょう。「間違はなく、プレゼントはもらったよ」と。

ある幼稚園でのシスターの言葉です。「寒い、寒いと言うのを少しだけ我慢しましょう。そうすると、その分飼いの葉桶のイエス様のお布団が暖かくなるのですよ」。真のクリスマスプレゼントに思いを馳せる導きの言葉と言えましょう。

イエス様のお誕生は、当時人知れぬ場所、真つ暗闇の中、心細さを抱えているヨセフとマリアに見守られ